

村政を学び、少しでも村

政の 実体を知ろう!

連日伝えられた「熱中症ニュース」の夏も終わり、山麓の秋風が心地よく感じます。今年の夏はいかがだったでしょうか?

入札制度と村事業の実体

停滞は許されない政治も、国政では、7月の参議院選挙で『与党惨敗・与野党逆転』の国民の審判が下り、本来の“議論する国会”となることが期待されます。

さて、地方自治の根幹である『地方自治法』には、次のような文言があります。

地方公共団体は、その事務を処理するに当っては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。(地方自治法第2条14)

樋口は、チェック機関である議会の議員として、行政を測る物差しをここにおいています。つまり「住民の福祉の増進に努める事業であるか(必要か否か)?」その事業は「最少の経費で最大の効果を挙げているか(適正か)?」ということです。

いずれも「村民の税金の使い方」が最大の課題となります。そして、「透明性・公平性・競争性が確保されているか?」も重要なチェックポイントです。

その視点に立って、今回は事業執行(物品購入や工事請負い)の

『入札制度』(契約相手の選定方法)についてお伝えします。

入札制度には、次の三種類があり、各々一長一短があります。

- A 一般競争入札.....不特定多数の希望者間で競争する機会均等で公平性に優れ、経済効果もある
- B 指名競争入札.....あらかじめ村が選定した業者間で競争する参加者の範囲が限られ、談合しやすい
- C 随意契約.....村が業者を指定して契約を結び競争は生まれない。公的理由が条件

入札では、村が設定した予定価格以下で最低制限価格以内の、一番安い金額で入札した業者が落札(決定)

落札率(%)について.....落札率(%)=(入札価格÷予定価格)

「95%以上の入札は談合の疑いが極めて高い」
(全国市民オンブズマン連絡協議会)

次に、大型土木工事の入札結果を報告します。

<一の橋排水路整備事業>(指名競争)

工事名	予定価格	落札業者	入札額	落札率
第一工区	77,760,000	タカムラ建設・羽田産業JV	75,500,000	97.1%
第二工区	43,700,000	渡邊工業	42,000,000	96.1%
第三工区	182,200,000	富士急建設・羽田建設・富士建設JV	177,600,000	97.5%
第四工区	351,540,000	大森・タカムラ建設・太田建設JV	343,000,000	97.6%
第五工区	98,140,000	大森工務所	96,000,000	97.8%
第六工区	85,640,000	秋山土建・山吉工業JV	84,000,000	98.1%
合計	838,980,000		818,100,000	97.5%

山中湖村も「景観行政団体」へ名乗り

「これからは景観が大きな財産になる」ということで、山中湖村も「景観行政団体」へ名乗りをあげる予定です。ご存知の方も多いと思いますが、5月1日、6月2日の二回にわたり、景観に関する「住民懇談会」が開催されました。

第一回目は、参加者が四地区別に分かれ、それぞれの地区の「残したい景観」「改善したい景観」をリストアップしました。

二回目は、それを「目指すべき湖岸」と「沿道の将来像」の二つテーマに分類し、参加者は関心ある分野に分かれて検討

しました。

参加した住民から色々な意見や疑問、それに希望が飛び出し、関心の高さに驚くと共に有意義な内容となりました。

この貴重な意見を「検討委員会」でとりまとめ「景観計画」の素案づくりに移行する予定だそうです。

二日目懇談会の最後に、担当している企画課長から「山中湖村も『景観行政団体』になります」という力強い宣言があり、「一歩踏み出したなあ」という思いでした。

<交流プラザ建設工事>(指名競争)

工事名	予定価格	落札業者	入札額	落札率
第一期	1,225,120,000	大成・天野工業・富士急JV	1,193,000,000	97.8%
第二期	651,200,000	大成・天野工業・富士急JV	631,000,000	96.9%
第三期	141,820,000	タカムラ建設・太田建設JV	139,800,000	98.0%
合計	2,018,140,000		1,963,800,000	97.3%

図書館・文学の森関係工事(指名競争)

工事名	予定価格	落札業者	入札額	落札率
情報創造館(図書館)	188,940,000	長田組土木	185,000,000	97.9%
風生庵・創生庵移築	83,890,000	羽田木材	80,800,000	96.3%
尋常小学校移築	116,770,000	川上建設	114,000,000	97.6%

さらに注目の工事(指名競争)

工事名	予定価格	落札業者	入札額	落札率
調整池(当初)	1,549,710,000	奥村組・桑原組・タカムラ建設JV	1,511,000,000	97.5%
交流プラザの照明塔	169,840,000	芙蓉実業	169,000,000	99.5%

落札率の平均は97.5%で、全て指名競争入札です。

驚くことに交流プラザ運動場照明灯設置工事の落札率は99.5%です(4社を指名し、3社が辞退。従って一社だけの入札)。

参考までに、平成17年度の山梨の入札率は89.8%で、一番低いのは長野県の74.8%です。

もし、表の工事(合計約50億円)が山梨県と同じ落札率だったとすれば、3億8200万円の節約となり、長野県と同じ率ならば11億2700万円(村民一人当たり約19万円に相当)の差額が節約できたはずですが。

実は、平成15年度の落札率は山梨県(96%)、長野県(92%)でしたが、両県とも一般競争入札(山梨県は1000万円以上、長野県は原則全て)にした結果、落札率がハッキリと下がりました。

こう見てくると、山中湖村は極めて異常であり「最少の経費で最大の効果を上げていない」ことは明らかで、入札制度を根本的に改革する必要があります。議会の責任も重大です。

朗報! サイクリングロードに明るい見とおし

「湖を自転車で一周したいので、サイクリングロードをつなげてほしい」という声を多数聞いてきました。

特に「ままの森」の坂は「きつい」というだけでなく、交通事故の心配もあります。

長年の懸案だった“みさき”から“長池”の間のサイクリングロード建設は、地権者との話し合いが付き、大きく前進しました。

これからは、山梨県が予算をつけ事業を実現していく段階となります。

9月定例議会の予定

9月定例議会は、9月14日(初日)から2日の予定です。

「9月定例議会の報告」と
「村民対話の会」どなたでもお気軽にご参加ください!

9月27日(木)午後2時から 情報創造館

ご案内